

心のキャンパスに大きな夢を描いて

副校長 安田 明子

薫風そよぐ好季節となりました。始業式から約1か月が経ち、子供たちも新しい学年・学級に慣れ、自分の居場所を定めつつあることと思います。河口校長を始めたくさんの教職員を迎え、「新生チーム臨川」も本格的な教育活動の始動というところです。先日はPTAの一斉部会が開かれ、新しい委員さんたちとの顔合わせをすることもできました。改めまして、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

5月は私の好きな季節です。この時期、山を歩くと、見事なまでの新緑に出会うことがあります。伸びゆく命の息吹に触れ、心が晴れ晴れとするのを感じます。新緑が美しいのは、それが単なる緑一色で埋まっているわけではないからです。明るい黄緑から深い青緑まで、様々な葉の色が入り混じっています。そしてそれぞれの緑が日の光に照らされて輝いたり、日陰になって沈んだ色になったりしています。ですので「新緑」と言っても、実際には何色もの色が入り混じって、美しい景色を作っているのです。

保護者会でもお知らせした「夢100!ノート」は、お目通しいただきましたでしょうか。こちらも1人として同じ夢をもつことにはならないと思います。一人一人の心のキャンパスには、どんな夢が描かれていくのでしょうか。臨川小学校の子供たちの描く夢を応援していくとともに、私たち大人も夢もち、それをかなえていくことにワクワクしていきましょう。そして心の中にたくさんの(大小の)夢をもつ私たちが織り成す絵巻模様が、より豊かな臨川小学校を築くことにつながると信じています。ご家庭でも、この連休期間を通して、「夢100!ノート」についてともに語り合う機会を設けてみてはいかがでしょうか。

<4月の子供たちの様子から>



### 始業式

進級して新しい学級の列に並んだ子供たち。姿勢を正し、壇上の人をしっかりと見て話を聞いています。年度で動く学校にとって、「1年の計は始業式にあり」です。どの学年の子供たちも、新鮮な気持ちでスタートを切ったことがその表情から読み取れました。その思いを大切にしていってほしい、と思いました。

臨川小学校の子供たちは、話の聞き方が素晴らしいです。毎週の全校朝会でも、しっかりと話を聞くことができます。

### つくし学級 春探し

「なかよく たのしく あんげんに」を合言葉に晴天のもと、有栖川宮記念公園に向かいました。木々の若葉の間から差し込む木漏れ日、高台から溪谷に向かって吹く清々しい風、日本庭園に隣接する滝や川の水の流れ…五感で春を感じる事ができました。「副校長先生、一緒に釣ろう。」と誘われ、一緒に釣り糸を垂れたザリガニ釣りを通して、自然体験学習の意義を再確認しました。

